

「出張講義概要一覧」（データサイエンス系）

講座名	講師 (専門分野)	講義概要
データサイエンスが明かす「チームの意外な真実」	木村琢磨 (組織行動／データサイエンス)	リーダーが内気なチームの方が成果を出す。コソコソ作業するチームは仕事はかどる。いずれも直観とは違う結論かもしれません。この授業では、このようなデータが語る「チームの意外な真実」を読み解きます。
心臓電気活動の in silico シミュレーション	日高一郎 (生体医工学／データサイエンス)	致死性の心臓不整脈を理解するには、ミクロな細胞の挙動を理解するだけでなく、それらが多数結合されたネットワークとして心臓を捉えることが必要です。簡単に実行できる数理モデルを使って、不整脈の謎に迫ります。

「出張講義概要一覧」（国際教養学科※2025年4月英語コミュニケーション学科より名称変更）

講座名	講師 (専門分野)	講義概要
女性と衣装：19世紀イギリスを中心に	金子弥生 (イギリス文学・文化)	19世紀、イギリスでは産業革命が進み、男女の役割分担がはっきりしました。女性は現在の私たちとは全く異なる服装を身に着けていました。それはどのような服装なのか、はなぜそのような服装だったのかを考えます。
Discussing Current Issues in English	John McCarthy (TESOL, Critical Thinking)	What are some current issues that affect young people around the world? How are those issues viewed differently in different countries? In this lesson, you will learn vocabulary and conversation strategies that will help you clearly express your opinion on some of these issues, and you will practice discussing them with your classmates.
現代メディアとコミュニケーション	小西卓三 (メディア研究・コミュニケーション研究)	スマホのアラームで目覚め、BeRealやLINEをチェックし、TikTokのダンスを覚えて友達と踊る。こうした日常のメディア体験はコミュニケーションをどのように変容させているのか、考えてみましょう。
英語で世界の人たちとコミュニケーションしよう!	森博英 (英語教育学・第二言語習得論)	グローバル社会をよりよく生きるための英語力とその英語力を身につけるための効果的な英語学習法を紹介します。
ミュージカルを通して考えるアメリカの社会と多様性	池田陽子 (アメリカ文化・文化人類学)	この授業では、社会や世相が反映されることも多いミュージカルの歴史と作品を通してアメリカの人種問題や社会についての理解を深め、アイデンティティと多様性について考えます。
愛には形がある： 『ロミオとジュリエット』における「演劇の中の詩」	米谷郁子 (イギリス文学・文化)	名作『ロミオとジュリエット』の有名なシーンを題材に、言葉がいかにそこに置かれ、詩となり、セリフとなり、聞かれ継がれていくのかを考えながら、言葉の力とその効果を探ります。

「出張講義概要一覧」 (国際日本学科)

講座名	講師 (専門分野)	講義概要
国際観光ビジネス論 ー 感動を演出する！国際観光のお仕事 ー	高橋修一郎 (観光ホスピタリティ教育・ キャリア教育)	旅の価値はコロナ禍により、人生を豊かにする価値と再認識されました。本講では、観光ビジネスの魅力を理解し、観光人財の資質を育くみます。 校外学修東京ディズニーリゾート研修の事前学修にも対応可能です
高校生のキャリアデザイン ー 社会で活躍するための魔法の言葉 ー	高橋修一郎 (観光ホスピタリティ教育・ キャリア教育)	皆さんは人生の岐路にいます。AI（人工知能）の進歩は、職業が様変わりする可能性があります。本講は、変革激しい社会で、自分のキャリアを描く術を理解し実践します。将来の糧となるよう楽しく学んでいきます。
プレイス・ブランディング -地域×ブランドで、あなたのクリエイティブな未来をイメージ-	田原洋樹 (地域創生・地域ブランディング・ 観光ビジネス)	地域資源を活かしたオリジナル企画に挑戦！コミュニティ・ブランド思考を学び観光・航空・国際ビジネス等幅広い進路で生きる感性を醸成する講座です。 ※本学で開講している「地域ブランド論」を高校生向けにアレンジ
コミュニティ創生論 ー地域から世界へ！未来を切り拓くグローバル思考養成ー	田原洋樹 (地域創生・地域ブランディング・ 観光ビジネス)	航空・旅行・外資・地域プロデュースなど幅広い進路に直結！地域のリアルを国際的な視点で学び、自分の強みに変えていく講義です。 ※本学で開講している「地方創生論」を高校生向けにアレンジ
グローバルゼーションと日本のものづくり文化	重松優 (日本近代史)	日本の「ものづくり」の特徴である「シンプルさ」は、茶道の「わび・さび」や民芸運動に由来し、無印良品やApple製品にも影響を与えています。日本独特の「もの」が生まれた背景を一緒に考えましょう。
英語を「習得する」ってどういうこと？	高味み鈴 英語教育・第二言語習得	英語はどの様に習得されるものでしょうか。この疑問について考えてみると、皆さんにとって効果的な英語学習方法が見つかるかも知れません。少しだけ言語習得の分野を覗いてみませんか。
人の移動と文化	高橋薫 (社会学)	海外で暮らす日本人にとって、日本文化とはどういう意味があるのだろうか？それは日本で暮らす日本人とはどのように違うのだろうか？この授業では海外移住者の生活に注目し移動とアイデンティティについて考えます。
Japanese Odyssey: The Journeys of John Manjiro	Dr. Samuel P. Porter (Japanese and East Asian History)	This lecture introduces students to the fascinating life story of John Manjiro, a young fisherman from Tosa domain who became the first Japanese person to visit America. Through discussion, primary source analysis, and lecture, students will become familiar with university history class instruction.
日本伝統文化を海外に発信する	赤堀 志子 (社会言語学)	日本の伝統文化とサブカルチャーとの融合、ボーダーレス化が進んでいる。海外での歌舞伎公演を取り上げ、海外での理解を得るためにどのような工夫が必要か、またどのような問題が発生するか、について考える。
Tourism Sustainability: Brainstorming!	Kristie Sage (TEFL)	Brainstorming is important for developing ideas in international business and society. Let's study examples from the news and discuss ways to improve tourism sustainability through teacher guidance and pair work.

「出張講義概要一覧」 (国際学科)

講座名	講師 (専門分野)	講義概要
ジェンダーとエスニシティ	川畑 由美 (アメリカ文学・ジェンダー研究)	ジェンダーやセクシュアル・ハラスメントは一般的な文脈でもよく目にするできるようになった。短編小説を読みながら、19世紀のアメリカにおけるジェンダーや人種について学びます。
「同じ事態」でも「違う表現」	徐 珉廷 (韓国学・認知言語学)	異なる母語を持つ人々は、同じ事態でも表現の仕方が異なります。この講義では日本語・英語・韓国語の話者が好んでなされる〈言い回し〉とその言語化の仕方の差の背後にある〈発想〉の違いについて考えていきます。
漢字と「中国語」の違い	フスレ (中国語・東アジア国際関係史)	漢字は「文字」であり、ことばではありません。ことばの背景にある文化にふれながら、日本人と中国人の思考や行動様式、価値観の違いなどを考察します。それによって、どのような興味深い発見があるかを楽しんでもらいたい。
国際協力ってどんなことをするの？	米倉 雪子 (国際協力・開発研究)	発展途上国への国際協力を事例に、どのような協力が現地の人々の生活に本当に役立つのか、「持続可能な開発目標 (SDGs)」達成に貢献できるか、世界経済による途上国の人々の生活への影響もふまえながら、一緒に考えてみましょう。
多文化共生のための異文化理解： 身近な隣人の文化を知ろう	大泉 さやか (東南アジア地域研究・文化人類学)	日本に定住する外国人（あるいは外国にルーツを持つ人）が、日本で直面する困難、その文化的背景を、在日ベトナム人、ベトナムの文化を例に考えます。相手のものの見方を理解することの大切さに気付き、お互いを認め尊重し合う方法を考える糸口としてみましょう。
複言語を学ぶ理由	小倉麻由子 (スペイン語教育学・応用言語学)	機械翻訳やChat GPTなどの人工知能技術が進むSociety 5.0を生きる皆さんは、AIがあれば十分だと思いませんか？また、英語だけ学べばよいのではないかと思いませんか？この時代こそ複言語を学ぶ必要性について、一緒に考察してみましょう。
K-POPで学ぶ韓国社会	金泰植 (比較社会、韓国研究)	日本のアイドル文化と黒人音楽の影響を色濃く受けながら誕生したK-POPの成り立ち、BTSをはじめメッセージ性の強い歌詞とその社会背景、そして日本で「韓流」を楽しむことに付きまとう「嫌韓」と日韓関係、K-POPを通して韓国社会について一緒に考えてみましょう。
「国潮」エンタメから見る中国文化	張陵 (文献文化学・中日比較文学)	10年前から中国の経済を支えてきた新しいカルチャー「国潮」が今も流行っています。その背景にある中国伝統と現代文化の乖離、両者の融合の在り方、現代中国人の社会意識の一端を、「国潮」ドラマ、映画、アニメ、ゲームの内容とその享受の様相から考えてみましょう。
英語でのコミュニケーション	渡邊知子 (英語教育・応用言語学)	様々な国や地域からの人たちの英語でのコミュニケーションにおいて、どのように英語の表現が使われているのか、文化的背景などによりどのような違いがあるのか、といったことを考えていきます。
アメリカを例に民主主義について考える	矢島宏紀 (アメリカの歴史・思想)	アメリカ合衆国は、独立や憲法制定の過程に見られるように政府の必要性を認めつつその暴走をいかに防ぐのかということに関心を持ち続けてきた国です。そして世界に民主主義を広めようとしてきた国でもあります。民主主義はなんとなくよい仕組みだと思える人が多いと思いますが、昨今のアメリカや世界情勢を見ているとそれも揺らいでいるように見えます。アメリカ建国を例に民主主義について考えてみましょう。
「褒め」の正しい返答の仕方は文化によって違うの？	柏木厚子 (英語教育・応用言語学)	文化背景の異なる人々とコミュニケーションをするための第1歩は「あれっ」と思う気付きです。テレビのインタビュー番組など具体的な事例を通じて、文化間の違いを見つけ、その背景を考える頭のエクササイズをしましょう。

「出張講義概要一覧」（ビジネスデザイン学科）

講座名	講師 (専門分野)	講義概要
わかりやすい経営戦略論	三浦紗綾子 (経営組織論、経営戦略論)	企業が利益を上げるため・生き残るための方法が、経営戦略です。経営戦略とは何かを、身近な例を使って説明します。経営戦略の考え方をを使って、様々な社会現象と一緒に分析してみましょう。
時点が違うと価値は変わる：投資決定の基礎	本合暁詩 (コーポレートファイナンス・会計)	企業は日々様々な意思決定を行っており、特に工場建設や事業の買収といった長期的な「投資」は企業の価値に大きな影響を与えます。この意思決定の基本を、数値計算を交えながら解説します。
スマートフォンアプリのビジネスアイデアを考えてみよう	宮脇啓透 (ICTビジネス・新規事業開発)	身近なスマートフォンのアプリを事例として取り上げ、ビジネスモデルについて学びます。その後ビジネスアイデアを発想するプロセスを実際に行い、スマートフォンアプリのビジネスアイデアを実際に考案します。
チームメンバーの力を引き出すには？	櫻木理江 (組織行動論・マーケティング)	みなさんも、誰かとチームで作業をするという経験があるのではないのでしょうか。「高い成果を上げられるチームにはどんな特徴があるのだろうか」という疑問に、組織行動論の研究をご紹介しますながら考えます。
ビジネスのための異文化理解	浅田裕子 (理論言語学)	グローバルブランドの広告は、世界共通でしょうか？飲料・化粧品など、身近な商材を取り上げながら、ブランドの国際戦略と各国の文化特性がどのように広告に反映されているかを学びます。
「デジタル化」の脅威	馬場康志 (イノベーション論・技術経営学)	あらゆる情報がデジタル化される中で、もともと同じ業種だったのに、生き残り発展してきた企業と、衰退し消え去った企業があります。デジタル化への対応で両者は何が違ったのか、事例を交えて説明します。
Sustainability and Business	Akiko Imai (政治学, Global Issues)	グローバルビジネスによってこれまでにない魅力的な商品やサービスを楽しめる一方、思わぬ「負の影響」も発生しています。地球温暖化や児童労働などがその代表例です。環境・社会・企業統治（頭文字を取ってESG）と呼ばれる企業の義務や責任について、事例をもとに英語と日本語で議論します。
「ビジネスと人権」のグローバル・ガバナンス	今井章子 (政治学, Global Issues)	児童労働、低賃金労働、パワハラ・セクハラなど、ビジネス活動によって引き起こされる人権問題は後を絶ちません。国際社会や企業は「ビジネスと人権」問題にどう対処しようとしているのか、事例を交えて解説します。
環境と資源の経済学	長屋真季子 (環境経済学)	環境問題への取り組みは経済社会にとって必要不可欠なテーマになりました。経済と環境の両立のためには、私たちはどのような行動をとるべきなのか、経済学の視点から考えてみましょう。
ヒット商品にはワケがある	薬袋貴久 (マーケティング戦略)	なぜ、あの商品が売れたのか。身近なヒット商品を探り上げながら、製品やサービスが売れる仕掛けづくりとしてのマーケティングについて考えます。
Stereotypes and Discrimination (ステレオタイプと偏見)	富田三穂 (英語教育・異文化コミュニケーション)	ステレオタイプとは特定の集団や個人に対して広く信じられている固定的なイメージや考え方を指します。自身や社会に潜むステレオタイプに気づき、その背景や影響について英語と日本語でクリティカルに議論します。

「出張講義概要一覧」 (会計ファイナンス学科)

講座名	講師 (専門分野)	講義概要
元ファンドマネージャーの教授が伝授する株式投資成功法	山田隆 (ファイナンス・株式投資)	高校での金融教育の重要性がクローズアップされる現代において、短い時間であっても金融の重要なエッセンスが効率よく学ぶことができます。講師は1,000億円の資金を運用していた元ファンドマネージャーであり、その経験から株式投資成功法に加え、幸せな人生を歩む方法についても伝授する元気の出る内容です。

「出張講義概要一覧」 (日本語日本文学科)

講座名	講師 (専門分野)	講義概要
10歳のヒロイン、紫の上	鶴飼祐江 (中古文学)	『源氏物語』のヒロインである紫の上が物語に登場したとき、紫の上はまだ10歳くらいの少女でした。なぜ恋物語のヒロインが少女に設定されたのでしょうか。呼称に注目しながら読み解いてみましょう。
室町時代の流行歌	山本晶子 (中世文学)	室町時代に流行した歌とはどのようなものなのでしょうか。室町時代に編纂された『閑吟集』の歌を取り上げ、中世という動乱の世に生きた人々の思いを読み解きます。現代に伝わる室町小歌も視聴覚資料を用いて紹介します。
蕎麦vsうどん 『化物大江山』の世界	荻原大地 (近世文学)	みなさんは蕎麦派？うどん派？江戸時代の黄表紙『化物大江山』では、町で大暴れするうどんに蕎麦が戦いを挑みます。その結末はいかに？様々な素材が織りなす近世文学の世界を読み解いてみましょう。
星新一「味ラジオ」を味わってみよう	笛木美佳 (近現代文学)	「おーいでてこーい」を書いた星新一。「あっと驚くオチがあって、おもしろい」と人気です。「味ラジオ」はスマホを超えた最先端ラジオ。でも……。〈おもしろい〉だけではない星作品を味わいつくしましょう。
太宰治作品の明るさ、哀しさ、滑稽さ	山田夏樹 (近現代文学)	太宰治「トカトントン」では、第二次大戦後の世界で、何かを行おうとする度に幻聴に悩まされ、何も出来なくなる青年と、それをたしなめる某作家の姿が描かれます。その構図にどんな意味があり、そこから今を生きている私たちが何を得られるのか、考えていきます。
〈語り手〉から読むー芥川龍之介を中心にー	山本歩 (近現代文学)	大学の文学系科目や文学研究の一例として、小説の〈語り手〉に注目した読解を紹介します。芥川龍之介の『羅生門』や『地獄変』などを〈語り手〉というキャラクターに注目して読んでみましょう。
物語る少女たちー「少女小説」の世界ー	福田委千代 (児童文学)	吉屋信子の連作短編集『花物語』などを題材に、近代の少女たちを喜ばせた「少女小説」の世界を明治期から現在までふんわりと追い探りつつ、「物語る」ことについて考えてみましょう。
いぬ・ねこ・ひよこ～ことばのどうぶつえん～	須永哲矢 (日本語学)	ネコはどうして「ネコ」っていう名前なんだろう。ウグイス、カラス…、「ス」で終わる鳥がいるけど、虫でも「キリギリス」みたいに「ス」で終わる虫がいる。昔の人たちがどんなふうに見ていたのでしょうか。

講座名	講師 (専門分野)	講義概要
ゴリラとクリラ、どっちが強いか	嶺田明美 (日本語学)	「ゴジラ」は「ゴリラ」と「クジラ」の合成語だそうで、それなら「クリラ」でもよさそうですが、強そうにありません。日本語の発音の仕組みの基本をおさえたうえで、私たちが音から受ける印象の違いを考えます。
日本語とコミュニケーション -SNSとことば-	宮寄由美 (日本語学)	伝わってる？私たちは他者と円滑にコミュニケーションをとるため、どのような方法で伝え、どのようなことばを使っているのでしょうか。あなた自身や他者のより良いコミュニケーションについて考えてみます。
会話を文字にすると何が見える？ -コミュニケーションに活かす会話データ分析-	大場美和子 (日本語教育)	会話データ分析は、普段、何気なく行っている会話を収録・文字化することで、会話の特徴を客観的に分析します。これをいかにコミュニケーションに活かせるのか、実際に実際に会話データ分析を体験しながら考えます。
日本語教師ってどんな仕事？ -「かわいい服を着ていますね」はなぜおかしい？	村上佳恵 (日本語教育学)	日本語が第一言語の人は、「着っていますね」はおかしいと判断できます。しかし、なぜおかしいかを説明するのは簡単ではありません。日本語を第一言語としない人にどう説明すればよいか一緒に考えてみましょう。
異文化を知ろう	池田玲子 (日本語教育学)	異文化理解についてお話します。日本文化の中では当たり前のことが、外国人にとっては驚きの事実だということがあります。日常の中の異文化トラブルを知り、文化や価値観の違いについて一緒に考えてみましょう。
あなたの日本語は通じるか？： 外国人とのコミュニケーションを考える	近藤彩 (日本語教育)	日本語で外国人とコミュニケーションをするとき、どのようなことに気をつければいいでしょうか。経済産業省と一緒に制作した動画等を使ってコミュニケーションについて多角的に考えます。
すべての人に開かれた図書館を目指して	田中均 (図書館情報学)	2024年に障害者差別解消法の改正がおこなわれて、図書館も少しずつ変化しています。サポート機器（情報機器）を紹介しながら、だれもが利用しやすい「やさしい図書館」について一緒に考えましょう！
絵本の読み聞かせをしてみませんか？	池田美千絵 (図書館情報学)	読み聞かせは、子どもと絵本の出会いを作るものです。読み聞かせの方法とは、読み聞かせに適した絵本とは、どのようなものなのでしょうか。実際に読み聞かせを体験しながら考えていきます。絵本の紹介も行います。

「出張講義概要一覧」 (歴史文化学科)

講座名	講師 (専門分野)	講義概要
幕府とは?大名とは?	野口 朋隆 (日本近世史)	江戸時代は、幕府と藩からなる幕藩体制を基本的な枠組みとする社会でした。しかし幕府のなかの将軍や大名はどのような関係にあったのでしょうか。講義では新しい研究成果を踏まえて分かりやすく説明していきます。
デジタルアーカイブで新選組の実像に迫る	三野 行徳 (アーカイブズ学・日本近世史)	新選組局長近藤勇は多くの手紙を遺しており、近年、インターネットでも画像を見ることができるようになりました。近藤の手紙を読み解き、フィクションの世界の新選組とは異なる実像に迫ります。
過去を「体験」しよう	松田 忍 (日本近現代史)	私たちの身体は過去に行くことはできません。しかし残された史料を通じて過去をかいま見ることができます。追体験することもできます。そうですね、さしあたり60年前に行ってみましょうか。この日本列島に私たちの知らない異世界が広がっているはずです。
古くとも新しい西洋	湯上 良 (西洋史)	感染症や戦争・紛争で混迷を深める世界。文字記録が大切に受け継がれてきた西洋には、モノ自体は古くとも、そうした現実に対しても新しい発見がたくさんあります。石板からデジタル文書まで、その魅力を感じつつ、現代や文化について考えてみましょう。
中国明代の仏教絵巻から見る東洋史	毛利英介 (東洋史学)	東洋史はアジアの歴史なら何でも扱います。今回は「普度明太祖長巻」という中国明代の仏教絵巻を紹介します。説明文は漢文・モンゴル語・ペルシャ語等五言語で書かれます。「東洋史、面白そう」と思って欲しいです。
民俗と芸能	大谷津 早苗 (日本芸能史)	日本各地に伝承されている民俗芸能を取り上げ、民俗学や芸能史・宗教史・国文学などと関連させながら、伝承資料としての民俗芸能の特色と価値を考えます。また、芸能表現の背後にある日本人の心意も探してみたいと思います。
発掘された「木の道具」を調べる	鈴木伸哉 (考古学)	遺跡からはしばしば、木でできた道具や木造建築物の跡が発見されます。これらを考古学や文化財科学の手法を用いて調べることでわかる過去の人類と森林の関わり方の歴史について、最新の事例をもとに解説します。
江戸の「新しもの好き」たち —西洋画へのあこがれと受容—	鶴岡 明美 (日本美術史)	18世紀後半、江戸時代も半ばを過ぎるころ、オランダや中国といった限られた国々との交流を通じてもたらされた西洋画に魅入られ、その表現に倣って作品を残した画家たちがいました。彼らの努力の跡をたどるとともに、こうした西洋風の画法が当時の人々の好奇心を刺激したことで生まれた、洋風の浮世絵版画についても紹介します。
ルネサンスの壁画を読む	永井 裕子 (西洋美術史)	世界的に有名な壁画《最後の晩餐》について考える授業です。何が描かれているのか、どのように描かれたのか、なぜ傑作とされるのか、絵画作品を読み解いてみましょう。
文化財を科学する	村上 夏希 (文化財保存学)	皆さんは文化財とは何か、日本にどのような文化財があるのかご存じでしょうか。本講義では、文化財そのものについて、そして文化財を科学的に調査研究する文化財保存学について、具体的な事例を交えて紹介します。
地理的見方・考え方の活かしかた	松山 周一 (地理学)	高校で必修となっている地理総合で学ぶ地理の知識をどのように使い、活用するかについてマンガ・アニメ、環境問題、身近な社会問題など様々なテーマ(テーマは応相談)をもとに学びます。

「出張講義概要一覧」 (心理学科)

講座名	講師 (専門分野)	講義概要
「言葉のキャッチボール入門」 ～伝えるって、むずかしくて、おもしろい～	岩山孝幸 (臨床心理学)	「ちゃんと伝えたはずなのに...」「なんかズレてる?」そんな会話のもやもやを、カウンセリングの技術を通して解消します。コミュニケーションの不思議と面白さを一緒に体験しましょう。
心理テストって信じていいの?	木村あやの (臨床心理学)	みなさんは心理テストにどのようなイメージを持っているでしょうか。医療、司法、教育、福祉の各分野で、心理テストがどのように活用されているのか解説します。
こころの健康と病気	島谷まき子 (臨床心理学)	こころの病気に対する誤解をなくし、正しい理解を得られるように、こころの健康と病気についてわかりやすく解説します。また、臨床心理士や公認心理師が働いている職域について紹介します。
多様性はなぜ大切か	本多-ハワード素子 (産業・組織心理学)	あなたは「人と違うこと」についてどのように思いますか。世の中は、いろいろな考えの人がいて、協力しながら社会を作っています。産業・組織心理学と社会心理学の視点から身近な話題と研究について考えていきます。
他者とかがわる力の発達	野寄茉莉 (発達心理学)	私たちは毎日誰かとかかわりながら過ごしています。他者とかがわる力はいつ・どのように身につくのでしょうか?この問いについて、幼い頃の他者とかかわり方に目を向け、発達心理学の視点から考えます。
赤ちゃんの心理学	松澤正子 (発達心理学)	乳児は、見たり、聞いたりした経験をもとに、その後の人生を生きていくために必要なことを学びとっています。乳児が経験から何を学ぶのか、そして、その後の精神発達にどのような影響を与えるかをお話します。
ストレスと傷つきやすさの心理学	村山憲男 (臨床心理学)	「ストレスを解消したい」「傷つきたくない」と思うことはありませんか?当講義ではこれらの心理学の知見を分かりやすく解説をした上で、本学での最新研究をもとにした日常的に実行できる具体的な対策を紹介します。
助け合いを支える心の仕組み	山本晶友 (社会心理学)	「数学教えて。代わりに英語手伝うからさ」。こうした人と人の助け合いは、実は当たり前ではない不思議な現象です。その不思議さを囚人のジレンマというゲームで考え、助け合いを支える心の仕組みも学びます。

「出張講義概要一覧」 (福祉社会学科)

講座名	講師 (専門分野)	講義概要
日本で暮らす外国人の生存権	奥貫妃文 (在住外国人の社会福祉)	日本で暮らす外国人は370万人を超えました。100人のうちおよそ3人が外国人という日本にて、社会福祉や社会保障制度は皆が安心して生活できる内容になっているか、今後どのように設計すべきなのか、考えます。
ライフ&キャリアデザインと生活経営	伊藤純 (生活経営学)	本講義では、人生100年時代の私たちの生活経営上の課題を考え、ジェンダーやライフ&ワークキャリアの観点から必要な社会福祉資源や獲得すべき生活福祉経営能力について考えます。
21世紀に求められるソーシャルワーカー	北本佳子 (ソーシャルワーク)	少子高齢社会の進展の中で、ソーシャルワークによる支援がますます注目されています。ソーシャルワークを担う専門職であるソーシャルワーカーについて、その意義や役割などを多面的に学びます。
敗戦後の子どもたちー 「あの日のオルガン」と児童福祉法	川崎愛 (児童家庭福祉)	第二次世界大戦の度重なる空襲や原爆の投下により、多くの命が奪われました。戦争で家族を失った戦争孤児がどのように戦後を生きたのか、「児童福祉法」の施行は社会に何をもたらしたのかを考えます。
社会福祉の視点について	李恩心 (地域福祉)	社会福祉とは何かという問いをたて、社会福祉に関する視点を学び、制度の理解とともに制度の狭間の問題へのアプローチ方法としての地域福祉実践などについて考えます。
子どもの健康と保健について ー病児保育に携わる保育士の専門性ー	向笠京子 (保健学・看護学)	子どもの支援と援助法について、乳児の援助を中心に理論を学び、演習を通して実践的に学びます。具体的には乳児の抱っこの仕方、衣服の着脱、おむつ交換、授乳の仕方、病気や体調不良時の対応について学びます。
障害とは何かを考える	根本治代 (障害者福祉)	障害をもつ人も、もたない人も互いに支え合う社会が求められています。障害とは何か、障害をもつとはどのようなことなのかを、社会を通して構造的に考えていきます。
現代に求められる保育ソーシャルワーカー	山梨みほ (保育学)	子どもの発達支援とともに、その家族も一緒に支援していくことが求められています。現在の子どもの発達におかれている問題を考え、「保育」と通して、親子関係の構築の手助けや育児支援について学びます。
当事者と共に社会を変える ー認知症高齢者と支援者による社会変革ー	熊谷大輔 (高齢者福祉)	認知症高齢者に関する基本的な理解と具体的なコミュニケーション方法を学び、認知症高齢者と支援者が共に実践する社会変革について映像を通して考えます。
ソーシャルワーカーという仕事の魅力	坂入竜治 (精神保健福祉)	身近な精神保健の課題を取り上げながら、人と環境(家族・職場・地域社会など)の双方に働きかけ、誰もが生きやすい社会をつくることをめざすソーシャルワーカーという職業の魅力について解説します。
児童福祉施設とソーシャルワーク	渡邊瑞穂 (児童家庭福祉・社会的養護)	様々な理由で家族と暮らすことができない子どもたちがいます。児童養護施設の支援の実際を事例を通して学び、現代の子どもたちを取り巻く社会問題について考えていきます。
社会福祉の歴史	樋田幸恵 (貧困史)	貧困は常に人間の暮らしの隣にあります。救貧制度が作られた背景を学び、過去に人間がしてきた「失敗」をこれ以上繰り返さないために、今を生きる者として共に考えます。
働く女性にとっての育児と介護	増田裕子 (児童家庭福祉)	働く女性の割合が増加の一途をたどり、家庭を取り巻く環境が大きく変化しています。育児や介護を担う働く女性、そして子ども・家庭を、どのように地域や社会とつなげるか、どのような支援が必要であるかを考えます。

「出張講義概要一覧」 (初等教育学科)

講座名	講師 (専門分野)	講義概要
音楽アンサンブルをとおして育む音楽表現力	赤塚 太郎 (音楽教育・ピアノ)	リトミックや、身近な素材・楽器を用いたアンサンブルをとおし、音楽で他者とコミュニケーションを図り、音楽表現の楽しさを感じながら、その可能性を広げてみましょう。
幼児の言葉の世界 ～おはなし・絵本を通して～	ドー小山祥子 (幼児教育学)	子どもは絵本が大好きです。「もう一回よんで！」と何度もせがみ、興味津々のまなざしでお話の世界に入っていきます。絵本をはじめとする視聴覚教材に触れ、その魅力と幼児の言葉の世界を一緒に探ってみましょう。
Bostonでの参加・体験型の英語教育実践を！	國分 有穂 (英語科教育)	Bostonの小学校などで英語活動を行う上で役立つ英語指導法をワークショップ形式で学んでいきます。指導の際に必要な教室英語や語彙・表現を身につけながら、英語らしい発音やリズムも身につけていきましょう。
「子ども」を哲学する	藤本夕衣 (教育哲学・思想)	「子ども」といえば、純粋、無邪気、元気などのイメージがあると思います。しかし、今の「子ども」のイメージは、歴史的にみると、当たり前ではありません。歴史的な視点から「子ども」について考えてみましょう。
教壇に立つということー教職の意義と教職観ー	鈴木 円 (教職論・社会科教育)	学校の先生になる、教職に就くとはどういうことなんだろうか？ 教職という職業はほかの職業とどう違うのだろうか？ この講義は教員を目指す学生が最初に受ける講義です。教職について、じっくり考えてみましょう。
日本画に隠されたメッセージを解説せよ！	早川 陽 (日本画・美術教育)	日本画の景色に隠された物語を解説！！歴史、文化、現代との繋がりを深掘りします。画家の想いや意外な文化との接点、現代カルチャーへの影響を発見。奥深い日本画（日本絵画）の世界を聞いてみよう！
子どもの笑顔を支えるために ～保育者の役割を考える～	遠藤純子 (保育学・臨床発達心理学)	人生の最初期に要求や気持ちを受け止められながら育つことは、その後の成長の大きな糧になります。一人ひとりが大切に育てられるために私たちができることを考えていきましょう。
インクルーシブ保育・教育って何？ ～みんな学びやすさを考えてみよう～	遠藤清香 (特別支援教育)	感じ方や動き方がちがう子どもたちがともに学ぶのがインクルーシブ保育・教育です。一人ひとりの“ちがいを大切にしながら、子どもたちそれぞれが安心して学ぶことができる保育・教育について考えてみましょう。
教育とテクノロジー	森秀樹 (教育工学・学習環境デザイン)	教育では、デジタルからアナログまで様々なテクノロジー（技術）が使われています。これらのテクノロジーは教育と私たちの学びをどう支えているのでしょうか。実際に様々な学びを体験しながら一緒に考えていきます。
日本・文化・ことば	豊田千明 (日本文学・日本文化)	さまざまなものを例にあげながら、ことばの背景にある文化について考えていきます。アジアの中でも独自の文化を形成した日本という国についても考えます。
比べてわかるヒトらしさ ーチンパンジーにもできること、 ヒトにしかできないことー	中村 徳子 (比較発達心理学)	ヒトにしかできないことって何だと思いますか？チンパンジーは系統発生的にみてヒトにもっとも近縁な種です。チンパンジーの赤ちゃんヒトの赤ちゃんの発達を比べることで、ヒトに固有な知性を探ってみましょう。
子どもが夢中になる学びづくりで、 望ましい学級・学校を創る	宮本雅司 (小学校学級経営・学校経営)	子どもが夢中になって「もの」や専門的な「人」とかかわる学びが、望ましい学級づくりや信頼される学校づくりにつながります。小学校での実践例をもとに考えていきます。
算数で考える 身近な社会を変える ーオープンエンドな問題解決を通してー	神保勇児 (算数科教育)	「学校に新しく自販機を設置、あなたならどうする？」この講義では、飲み物のラインナップから、みんなが満足する選択を考えます。数学が苦手でも大丈夫。小学生になったつもりで一緒に考えていきましょう。

「出張講義概要一覧」 (現代教養学科)

講座名	講師 (専門分野)	講義概要
日本の教育制度の七不思議 —諸外国との比較を踏まえ—	シム チュン・キャット (教育社会学)	「他を知り、己を知る」という言葉のように、自国をより知るためには他国との比較が重要です。この講義では、諸外国との比較を通じて日本の教育制度の特徴への理解を深めることを目指します。
女子大学は必要なのか？	シム チュン・キャット (教育社会学)	欧米社会では女子大学の存在が薄れつつある中、日本では全大学数の1割弱を女子大学が占めているのはなぜでしょうか。女子大学の存在意義について生徒たちと議論を行いたいと思います。
あなたは占いを信じますか	シム チュン・キャット (教育社会学)	宗教心が薄い日本人でも占いなら信じるのはなぜなのか、そもそも占いと宗教はどう違うのか、一方で世界中の多くの人々が神様の存在を信じている理由は何なのか、グローバルを語る前にまず宗教について考えませんか。
旅するまちを守る！ —サステナブル・ツーリズム—	鶴田佳子 (都市計画・都市社会学)	ニューヨーク、パリ、イスタンブールなど世界の都市を事例に、地域資産や文化の継承と、みんながハッピーに暮らせる観光のかたちを考えます。
メディアから考える原爆	八木良広 (社会学・オーラルヒストリー研究)	原爆は過去の出来事であり、現在の私たちにとって関係のないことでしょうか。文学や演劇、漫画、TV、映画等のメディアの中で描かれてきた原爆の捉えられ方を紐解きながら、現代社会における原爆について考えます。
私たちはなぜSNSにはまるのか？	天笠邦一 (メディア論)	SNSは楽しいけど苦しい。一度見始めると、止まらなくて抜け出せない。そんな人いませんか？なぜわたしたちは、SNSにはまるのか。承認欲求という心理学的側面ではなく、メディア論と社会学の視点から考えます。
「伝わる」動画を撮るテクニック	村井明日香 (メディア論)	皆さんは、スマホなどで撮影する動画に、文章と同じように「文法」があることを知っていますか？この授業では、学習活動やビジネスなど様々な場面で活用できる、より「伝わる」動画の基本文法について講義します。
「地図のデータ」を活用する社会	相尚寿 (空間情報科学)	みなさんは、地図アプリで最寄りの店舗が検索できることや雨雲の接近を通知されることの仕組みを考えたことはありますか？位置情報や空間データをキーワードに、観光、交通、防災など、社会での活用例を紹介いたします。
文学作品の映画化—川端康成「伊豆の踊子」は 社会に何をもたらしたのか	福田淳子 (日本文学：近現代)	ノーベル文学賞受賞作家の川端康成作品は、国内外で50作近く映画化されています。文学はエンターテインメントとして社会にどのように組み込まれてきたのか、6度の映画化がある「伊豆の踊子」を例に考察します。
デジタル時代における文化の変容とその意義	福田淳子 (日本文学：近現代)	進化を続けるデジタル化社会において、日本における文化はどのように変化しているのか、日本の伝統芸能や文学作品のアダプテーションを通して、具体的な内容とその意義について考えてみましょう。
グローバル社会がもたらす 「食」の変化	粕谷美砂子 (生活経営学)	「せたがやそだち」の野菜から世界の食をとりまく状況まで、地産地消、六次産業化、フード・マイレージ、エシカル消費、ハラールなどを題材にして、グローバル社会と食、農・環境の関わりについて考えてみましょう。
たかが服、されど服。	粕谷美砂子 (生活経営学)	なぜその服を選びコーディネートしたの？これを「使用価値」と「記号価値」の消費社会論やモノがなぜ消費されているか、消費が生み出す不平等の視点から捉え、消費をめぐる価値観、行動様式について考えます。

講座名	講師 (専門分野)	講義概要
良い人間関係とはどのような関係か	鳥越信吾 (社会理論)	困難に直面した時に、周囲の人の助けを借りてうまく対処できる人（「生きる力」の高い人）ほどストレスに強く、健康だといわれています。どのような社会が皆さんの生きる力を高めるのかを一緒に考えましょう。
なぜ今、「SDGs」なのか	見山謙一郎 (経営社会学)	「なにか、生きづらいな」と漠然と感じ、経験したことはありませんか。'何とも言えない'その原因を、社会学の立場から解説し、現代における「生きやすさ／生きづらさ」について考えていきます。

「出張講義概要一覧」 (環境デザイン学科)

講座名	講師 (専門分野)	講義概要
あたらしい建物	金尾朗 (建築計画・都市計画)	個性やオリジナリティ、地域の個性などが求められている中、デザイナーがどのように新しい建物を考え、想像しているかについて事例を見ながら考えていく。
都市とオープンスペース	金子友美 (建築計画・住居計画)	図と地の関係から「建物を建てる」と「外部空間をつくる」ということを考えます。世界各地の広場や日本のオープンスペースの事例を紹介します。
1/1ワークショップのはなし	田村圭介 (建築計画・意匠)	人々が実際に利用できる原寸大の建築(構築物)を学生がチームで自らの手で作るワークショップを学生と10年以上続けてきました。企画構想、設計、施工、組立て、解体、お金の管理と、これは建築行為の凝縮されたシュミレーションです。毎年展開してきた学生たちのモノづくり格闘のお話です。
建築ってなんだろう	棚橋玄 (建築設計)	私たちの暮らしのなかに、常に建築は存在しています。あらためて建築って何だろう。人の居場所のはじまりという観点から、様々な事例を参照しつつ考察していきます。
室内環境と健康・快適	堤仁美 (建築環境学)	現代社会において、私たちは一日のほとんどを室内で過ごしています。そのため、知らず知らずのうちに室内の環境からの影響を受けています。本講座では、室内環境と人間の健康性や快適性の関係について解説します。
建築と都市の歴史	戸田穰 (建築史)	私たちの暮らす街には多くの建物がたっています。普段、それらひとつひとつの存在を意識することはあまりありません。しかし、建物はひとたび建設されれば、長くそこに立ち続けます。そのひとつひとつの建物の物語を通じて、都市の成り立ちや、わたしたちの歴史を紐解きます。
すまいと生活 ～子ども部屋を考える～	番場美恵子 (住生活学)	幼児、小学生、中学生、大学生...同じ子どもでも、成長段階で必要なものは変化し、当然求められる子ども部屋も異なります。とくにイマドキの大学生の生活と子ども部屋に着目し、その実情とそこからみえる現象や課題を考えてみましょう。
建築に潜む力の流れを垣間見る	森部康司 (建築構造・構造設計)	近年、ファッションやCMの背景として、建築家のデザインした美しい建物が取り上げられることが増えてきた。そうした建物では一見すると特徴的な外観やインテリアにばかりに目が行きがちだが、その裏には厳格な力学の世界が潜んでいる。そんな厳格の世界の一端を解説する。
まちを歩くことについて	伊原慶 (建築計画・意匠)	皆さんが生活しているまちは、人々の営みが連綿とつながり蓄積されることで成り立っています。「現地に出向いて直接対象物を観察・調査すること」をフィールドサーベイと言いますが、普段見慣れたまちを対象として行うといつもと全然異なる視点が得られます。そんなきっかけや建築の楽しさを皆さんにお伝えできたらと思います。
パッケージデザインの役割	工藤陽介 (プロダクトデザイン)	店でも、オンライン販売でも、売られているほとんどの商品はパッケージに入っています。パッケージをデザインする視点から見ると買う立場とは違った発見がたくさんあることお話しします。
モノのカタチの不思議	橘倫央 (プロダクトデザイン)	国民椅子といっても過言ではない学校椅子を解体し、デザインの視点で素材、部品、形状、加工、設計をとらえ直していきます。日常生活に溶け込んでいるありふれた製品を通じ良いデザインについて解説します。

講座名	講師 (専門分野)	講義概要
「デザイン・ビフォア・アフター」	中田士郎 (プロダクトデザイン)	現代の生活の中には様々な問題(社会的、人為的、物理的、身体的...)があります。それらの解決方法のひとつがデザインです。数々の事例を解説し、ビフォア・アフターでの変化にデザインがどう関わったかを考察していきます。
紙とデザイン	桃園靖子 (プロダクトデザイン)	私たちの生活の中には、とてもたくさんの紙が存在します。紙一枚がデザインと出会くと、どんな可能性を纏うことができるのでしょうか。目で感じ、手で触れながら紙のプロダクトについて考えます。
ファッションが生まれるまで -アパレルの企画・生産-	石垣理子 (アパレル設計・デザイン)	人々の生活を豊かに彩るファッションの中心にある衣服。シーズンごとに人を魅惑する新しいスタイル。これらはどのように生み出されてみなさんの手に渡るのでしょうか?アパレル(既製服)の企画、生産、販売の流れを追いながら、ファッションビジネスの一端を覗いてみませんか?
おしゃれの社会学 -ジブリとファッション-	菊田琢也 (ファッション論・ファッション史)	「おしゃれ」とはなんでしょう? スタジオジブリの登場人物たちの装いを例に、私たちが服を着て社会生活を送る理由、あるいはおしゃれをしたいと思う心理についてひも解きます。
テキスタイルとデザイン	下村久美子 (染織・テキスタイルケア)	日本の伝統的なテキスタイルの事例をいくつか取り上げて紹介します。私たちが着用している衣服生地デザインのデザインと染色について考えてみましょう。例えば型染はその技法の制約がデザインに活かされています。
ファッションと表現	木村知世 (服飾造形・ファッションデザイン)	ファッションの表現方法はさまざまなものがあります。アニメやゲーム、イラスト、衣装など、いろいろな観点からファッションを捉えてみましょう。
地域とデザイン	内田敦子 (地域デザイン)	日本各地で様々なまちづくり活動が行われていますがまちづくりにもデザインが重要な役割を担っています。事例を紹介しながらデザインの役割について考えます。
メディアとデザイン	鳥海希世子 (メディア論)	私たちの日常は多様なメディアで溢れています。新聞やテレビ、スマートフォンからSNSまで、私たちは当然のように複合的なメディア環境のなかに暮らしています。この授業では、まずその当たり前さをふり返り、メディアと私たち、そして社会との関係性について考えます。
デザイン・デザイン	藤澤忠盛 (デザイン構想・意匠設計)	数多くのスライド・映像を使い現代デザインをユニークに紹介します。ベルボトムのジーンズはなぜ裾が広がっているの?ポカリスウェットのパッケージデザインはなぜ青色なの?国旗の色の意味は何?パリコレの洋服は本当にいいデザインなの?未来の車はどんな車?建築家はなぜ変わった建物を建てるの?などデザインの謎と真相に迫ります。
人の感性に響く デザインの世界	羽深太郎 (感性デザイン学)	「きれい」「カッコいい」「使いやすい」といった私たちの感性について。本講義は人の感性を科学的に探求する「感性工学」と、その知識を活かして新たな価値を生む「感性デザイン学」の世界に迫ります。
日常の観察 -「猫よけペットボトル」編-	長井優衣 (情報表現・造形表現)	日常におけるとるにたらない気づきや違和感を観察してみましょう。路地で見かける水の詰まったペットボトル、通称「猫よけペットボトル」を例に、そこから見えてくる人々の生活、文化、多様な意味作用などを紐解いていきます。

「出張講義概要一覧」 (健康デザイン学科)

講座名	講師 (専門分野)	講義概要
腸と肌の不思議な関係	作田 智洋 (皮膚科学・食品機能学)	体の中にある腸と体の外側を覆っている皮膚(肌)、実は構造やはたらきで似ている点が多くあります。さらに、腸がダメージを受けると、肌も影響を受けること等について、わかりやすくお話します。
GR法を知る	池田 尚子 (臨床栄養学)	食品の血糖応答性の簡易評価法にGR法 (Glucose Releasing Rate) があります。GR法がもたらす健康効果と栄養学の重要性について学ぼう。
高校生のための「スポーツと栄養」	小川睦美 (栄養学)	成長期の皆さんの身体を作るスポーツと栄養について考えてみましょう。
ダイエットと運動を科学する	白川 哉子 (健康科学)	ダイエットになぜ運動が必要であるかを、運動による身体変化をもとに考える。健康的な身体と運動との関係を理解し、ダイエットになぜ運動が必要か考えましょう。
病気と栄養	花香博美 (医化学・分子生物学)	病気をしたとき、どのような食事をとればいいのでしょうか？医学と栄養がどのように結びつくのか、研究医の視点からお話しします。
食事を設計してみよう	不破眞佐子 (給食経営管理)	大切な人への食事を考えてあげたい！でも、相手に喜んでもらえるにはどうやって考えたらよいのでしょうか？献立作成の時に、栄養士が工夫している点を一緒に考えてみましょう。
災害と食生活	不破眞佐子 (生活科学)	M7クラスの首都直下地震の発生確率は今後30年間で70%と言われています。地震災害に対する備えは出来ていますか。何をどのように備えたらよいのか、食生活の観点からお話しします。
ヨーグルトの科学	村松朱喜 (食品科学・食品衛生学)	ヨーグルトには乳酸菌が多く含まれ、腸内フローラを整えるためにもおすすめの食品です。乳酸菌にも色々な種類があり、美味しさもそれぞれです。授業を通して、発酵の科学を学んで健やかな毎日を探究しましょう。
巧みな身体運動の科学	山中健太郎 (身体教育学)	私たちはスポーツ中の走・跳・投だけでなく、日常生活の歩く、箸を使うといった様々な身体運動を巧みに行うことができます。この身体運動を巧みに行う仕組みと、上手・下手が生じるわけを考えてみましょう。
運動と食事のデータに基づく健康づくり	山中健太郎 (身体教育学)	健康の維持増進のためにどのような食事をどのくらい摂取し、どのような運動をどのくらい行えばよいのかを、アプリを用いた食事と運動のデータから考えてみます。
ストレスと疲労の栄養学	渡辺睦行 (食品機能学)	ストレスや疲労を全く感じることなく生きていくことは難しいことです。ストレスと疲労は似ているようで発生の意義もメカニズムも全く異なります。この講義では、ストレスや疲労との向き合い方について解説します。
その食情報、本当に正しい？	黒谷佳代 (栄養疫学)	「○○を食べると△△になる」「●●は体に悪い」といった情報が巷に溢れていますが、正しい情報ばかりではありません。正しい健康情報を見極めるコツを概説します。

「出張講義概要一覧」 (管理栄養学科)

講座名	講師 (専門分野)	講義概要
食品の構造と機能	伊藤美香 (食品学・機器分析)	電子顕微鏡は高い分解能を持ち、高倍率での観察が可能です。特に、走査型電子顕微鏡では、食品のミクロの構造を立体的に観察することが可能です。食品のミクロ構造による食感や調理上の機能について考察します。
酸化ストレスとタンパク質	川崎広明 (生化学)	酸素は体を傷つける凶器(酸化ストレス)にもなり、タンパク質を傷つけて病気の発症などにつながるということが知られています。本講義では酸化ストレスによるタンパク質傷害について、最新の研究成果も交えて解説します。
食品と健康の因果関係を探る	小西香苗 (公衆栄養学)	食事として食べた食品や栄養素が我々の健康を左右していることは良く知られています。では、それら食品と健康(病気)との因果関連は科学的にどのようにして明らかにされるのでしょうか? その実際を解説します。
「おいしさ」を決める要因	佐川敦子 (調理科学・給食経営管理)	私たちが感じる「おいしさ」とは、どのような要因によって影響を受けるのか? 「おいしさ」を決める要因には、食べ物そのものの状態や食べる人の状態など様々な要因があることを紹介します。
生活習慣と栄養	清水史子 (臨床栄養学)	現在、日本人において、肥満症や糖尿病などの生活習慣病が増加する一方で、低栄養やフレイルなどの問題も起きています。そこで、本講義は生活習慣と栄養について、身近な話題を中心に解説します。
病院での食事の現状について	調所勝弘 (臨床栄養学)	自炊から始まった病院の食事は現在、医療の一環として提供され、患者の病状に応じた栄養量を与え、質の向上と患者サービスの改善を目指しています。このように供される病院の食事の現状を解説します。
腎疾患患者における食事療法	中西員茂 (医学・腎・高血圧・透析療法)	腎疾患患者における食事療法の重要性についてお話します。食塩制限の高血圧・循環器疾患・腎疾患における重要性は周知のごとくですが、その方法について詳細にお話します。また、慢性期の腎疾患・透析患者におけるリン制限の重要性は、健常者のアンチエイジングにもつながり、興味深い分野であります。この点について最新の研究結果も紹介します。
記憶とつきあう： 体の中のマルチタレントプレイヤー、グルタミン酸	林真理子 (栄養生化学)	グルタミン酸は、うま味物質であり、タンパク質を構成するアミノ酸の一つであり、記憶の形成に関わる神経伝達物質でもあります。私たちが食べたものが体の中でどう活躍しているのか、一端をのぞいてみましょう。
栄養教育を活用した食育活動	星玲奈 (栄養教育論・食育)	管理栄養士の科目に「栄養教育」があります。栄養教育はどのような支援が人の食行動を変化させるのかを学修します。今回の模擬講義では、実際の講義と共に実践に結び付けたPBL型の食育活動についてもお話します。
病原微生物と食中毒	榎田和彌 (微生物学)	現在問題になりやすい食中毒や実際に起こった食中毒事件を中心に、原因微生物の特徴を踏まえた食品管理の問題点や食中毒の予防方法について解説します。
おいしさ・味と飲み込みやすさについて	三浦裕 (食品加工学・食品学)	高齢化社会を迎えるなかで、誤嚥しないように飲み物を飲むことは重要です。飲料の味や温度等の条件により飲み込みやすくなることが解ってきました。これらについて解説します。
将来に備えて今から骨密度をUPしよう	坂本友里 (応用栄養学)	骨密度は20歳頃がピークで、年齢を重ねるごとに低下しますが、骨密度を上げるために、下げないために何をすればよいのでしょうか。今からやれること・やるべきことを栄養学を踏まえてお話しします。

「出張講義概要一覧」（食安全マネジメント学科）

講座名	講師 (専門分野)	講義概要
スイーツは科学！ “膨らむ仕組み”を学んでお菓子作りを攻略しよう	大石恭子 (食品科学)	スポンジケーキやシュークリームなどのふわふわ食感はおいしさに欠かせない要素です。なぜ膨らむのか、そのメカニズムを理解すれば再現性の高いお菓子作りが可能に。失敗しないコツを科学的に学びましょう。
食行動：たべる／買う	清野誠喜 (フードシステム論・消費者行動論)	ヒトの食べる、購入する（買う）際の行動・心理について、その特徴を学びながらビジネスへの応用について考えます。
フードテックと食料問題	小泉美和子 (生理学、新規食品リスク評価)	食の未来を担う技術革新フードテックが注目されています。新しい食品や技術が求められる今、タンパク質に富んだ食べ物が不足するプロテインクライシスや食料不足といった地球規模の課題を考えてみましょう。
Healthy aging 健康を保ったまま長生きするには	近藤一成 (食品衛生・薬理・病理)	高齢人口が増加する現代において、健康寿命を伸ばすことが重要な社会課題になっている。食品摂取パターンが、認知機能、慢性疾患の有無など健康的な加齢にどのように関連するかこれまでの知見を見てみよう。
睡眠と生活習慣病	地家真紀 (公衆衛生学・睡眠疫学)	普段何時間眠っていますか？ 少しくらいの夜更かしは大丈夫と思いませんか？ 今の生活習慣が将来の生活習慣病の発症に関連します。身近な睡眠を見直してみましょう。
タンパク質のかたちを観る	島村達郎 (生化学)	複雑な生命現象の主役であるタンパク質のかたちを観て、「生命とは何か？」を考えよう。
食品の表示を読もう	高尾哲也 (食品加工学・食品科学)	食品に書かれている表示は、私たちに多くの事を教えてくれます。ともすれば、包装に描かれているデザインや写真などのイメージで商品を選択してしましますが、その前に表示をチェックしてみましょう。
健康食品の安全性を考えよう	横谷馨倫 (栄養学・食品安全学)	健康食品の摂取により、健康被害を起こすことがあります。この講義では、健康食品の制度や正しい使用方法について解説します。